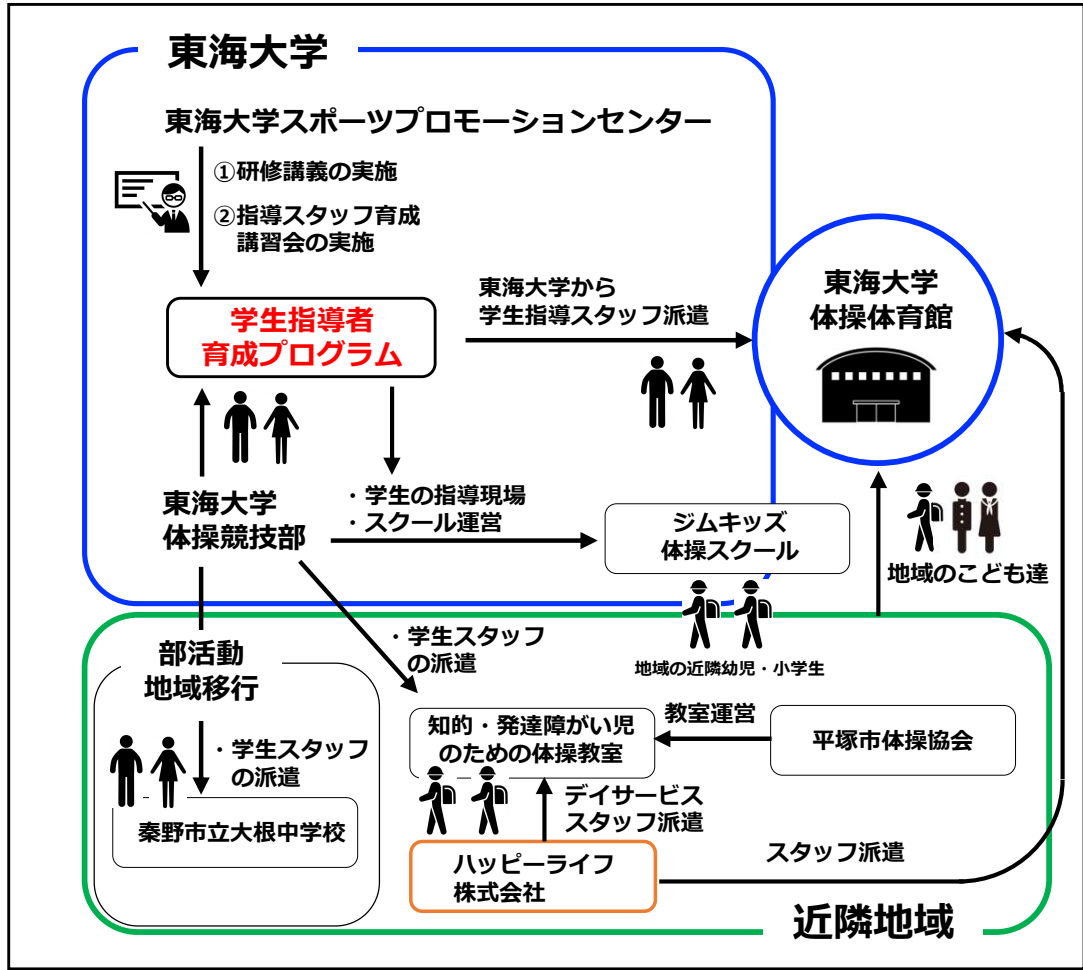


実施計画名	東海大学における学生スポーツ指導者の育成と中学校部活動地域化プロジェクト
事業概要	<p>I. 研修講義の開催 地域移行に関する総合的なガイドラインを把握したり、中学生年代への指導のあり方について大学有識者による講習会などは行われていなかったため、研修講義という形で開催する。</p> <p>II. 大根中学部活動と地域の子どもたちへの体操教室の合同開催 大根中学部活動と地域の子どもたちへの体操教室を同時に本学体操体育館にて実施し、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」ことを具現化する。</p> <p>III. 特別支援の必要な子ども達も含めた地域の子ども達のための体操教室の開催 「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」に加え、インクルーシブなスポーツ交流を目指して、すべての子どもを対象とした体操教室を開催する。</p>

■ 大学生指導員の養成・確保に当たっての仕組みやフロー



■ 実証事業の検証・評価方法

- ① 参加者（保護者）への調査から成果を評価する。**
 - 参加者（保護者）に対して、体操教室の教育内容や安全への配慮などについてアンケートを実施し、その成果をまとめる。参加しなかった保護者に対して、何か不安な点や気になる点があったか、アンケートを実施し、阻害要因を調査する。
- ② 学生への調査から成果を評価する。**
 - 参加した学生スタッフに対して、参加して学んだことやこれから指導をやってみたいか、など指導者としてのモチベーションの調査を行い、学生指導者として育成できたか成果を確認する。
 - 参加した学生スタッフに対して、指導が難しかった点や逆によくできたと思う点などの調査を行い、学生の指導力の傾向や研修講義・専門的指導の成果を確認する。
- ③ 学生指導者の育成に関わった有資格者や教員への調査から問題点を抽出する。**
 - 指導資格をもったスタッフから自由書式でコメント・評価を集める。評価から、今後の方向性や内容について検討を行う。

■ 事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）

